安全データシート

BYK

CLOISITE-Na+

版番号	改訂日:	前回改訂日: 2022/04/27
1.4	2023/10/26	初回作成日: 2015/05/15

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : CLOISITE-Na+

製品コード : 338-CSNA+12K

用途 : ポリマー添加剤

供給者情報

供給者の会社名称 : ビックケミー・ジャパン株式会社
住所 : 東京都新宿区市谷本村町3-29
電話番号 : +49 281 670-23532
ＦＡＸ番号 : +49 281 670-23533
電子メールアドレス : GHS.BYK@altana.com
緊急連絡電話番号 : East/South East Asia +65 3158 1074

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

発がん性 : 区分 1A

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H350 発がんのおそれ。

注意書き :

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念が ある場合：医師の診断/手当 てを受けること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質
化学名又は一般名 : 天然ベントナイト

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)
ベントナイト	-	>= 90 - <= 100
石英（結晶）	14808-60-7	>= 0.1 - < 1

4. 応急措置

一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。

吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 : 石けんと多量の水で洗い流す。
皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合 : 直ちに吐かせ、医師に連絡する。
気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
情報無し。

医師に対する特別な注意事項 : 情報無し。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水
二酸化炭素（CO2）
粉末消火剤

使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水

特有の危険有害性	:	知見なし。
有害燃焼副産物	:	有害燃焼生成物は知られていない。 製品自体は燃焼しない。
特有の消火方法	:	化学物質の火災に対する標準手順。 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
消火を行う者の保護	:	消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:	保護具を使用する。 粉じんの発生を避ける。 粉じんを吸い込まないよう留意。
環境に対する注意事項	:	製品を排水施設に流してはならない。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火災及び爆発の予防	:	粉じんの発生を避ける。 粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。
安全取扱注意事項	:	吸入性粉じんが発生しないように留意する。 蒸気/粉じんを吸い込まない。 皮膚や眼への接触を避けること。 個人保護については項目 8 を参照する。 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
接触回避	:	非該当
衛生対策	:	使用中は飲食しないこと。 使用中は禁煙。 休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件	:	容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。 ラベルの予防措置を遵守する。 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
保管安定性に関する詳しい情	:	乾燥した場所に保管する。

報　　指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
ベントナイト	-	OEL-M (吸入性粉じん)	0.5 mg/m3	日本産業衛生学会（許容濃度）
		OEL-M (総粉じん)	2 mg/m3	日本産業衛生学会（許容濃度）
石英（結晶）	14808-60-7	OEL-C (吸入性粉じん)	0.03 mg/m3 (シリカ)	日本産業衛生学会（許容濃度）
	詳細情報: 発がん物質, 「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である. この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある.			
		TWA (呼吸性画分)	0.025 mg/m3 (シリカ)	ACGIH

保護具

呼吸用保護具　：　粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
総粉じんの濃度が 10 mg/m3 以上の場所では防塵マスクが推奨される。

フィルタータイプ　：　フィルタータイプ P

手の保護具

材質　：　保護手袋

備考　：　適切な手袋を着用すること。

眼の保護具　：　純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具　：　微粒子不浸透性保護服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：　粉末

色　：　オフホワイト

臭い　：　無臭

臭いのしきい(閾)値	:	非該当
融点/ 範囲	:	非該当
沸点／沸騰範囲	:	非該当
可燃性（固体、気体）	:	燃焼が持続しない。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	:	非該当
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	:	非該当
引火点	:	非該当
分解温度	:	データなし
pH	:	9.5 - 10.5 (20 ° C) 含有量: 2 % 方法: DIN 19268 (2% in water)
蒸発速度	:	非該当
かさ密度	:	500 - 1,100 kg/m3
自然発火温度	:	データなし
粘度		
粘度(粘性率)	:	非該当
溶解度		
水溶性	:	不溶
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	データなし
蒸気圧	:	非該当
密度及び／又は相対密度		
比重	:	2.80
密度	:	2.8 g/cm3 (20 ° C, 1,013 hPa)
相対ガス密度	:	非該当
最低爆発粉じん濃度	:	非該当

粒子特性
粒子サイズ : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。

避けるべき条件 : データなし
混触危険物質 : 非該当
危険有害な分解生成物 : 危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性（経口） : 備考: データなし

成分:

ベントナイト:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 420

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.27 mg/l
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 436

皮膚腐食性／刺激性

製品:

備考 : データなし

成分:

ベントナイト:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

GLP : 該当

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品:

備考 : データなし

成分:

ベントナイト:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405
GLP : 該当

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

備考 : データなし

成分:

ベントナイト:

試験タイプ : Mouse Local Lymph Node assay (LLNA)
暴露の主経路 : 経皮
種 : マウス
方法 : OECD 試験ガイドライン 429
結果 : 皮膚を過敏化させない。

アセスメント : No acute effects have been observed.
備考: Bentonite is exempted from REACH registration in accordance with Annex V.7. A hazard assessment has been conducted under the umbrella of the European Bentonite Association (EUBA) and the outcome was that bentonite is not a hazardous substances. Therefore, in absence of identified hazard, the substance is safe and presents no risk.

生殖細胞変異原性

製品:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: データなし

in vivo での遺伝毒性 : 備考: データなし

成分:

ベントナイト:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった

発がん性

製品:

備考 : データなし

生殖毒性

製品:

妊娠に対する影響 : 備考: データなし

胎児の発育への影響 : 備考: データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

製品:

備考 : データなし

成分:

ベントナイト:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品:

備考 : データなし

成分:

ベントナイト:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

反復投与毒性

製品:

備考 : データなし

成分:

ベントナイト:

備考 : データなし

反復投与毒性 - アセスメント : No acute effects have been observed.
備考: Bentonite is exempted from REACH registration in accordance with Annex V.7. A hazard assessment has been conducted under the umbrella of the European Bentonite Association (EUBA) and the outcome was that bentonite is not a hazardous substances. Therefore, in absence of identified hazard, the substance is safe and presents no risk.

誤えん有害性

製品:

データなし

詳細情報

製品:

備考 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : 備考: データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : 備考: データなし

成分:

ベントナイト:

魚毒性	:	LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 16,000 mg/l 曝露時間: 96 h LC50 (海洋生物): 2,800 - 3,200 mg/l 曝露時間: 24 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:	EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l 曝露時間: 48 h 方法: OECD 試験ガイドライン 202
藻類／水生生物に対する毒性	:	EC50: > 100 mg/l 曝露時間: 72 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性）	:	本製品には既知の生体毒性は無い。

残留性・分解性

製品:

生分解性	:	備考: データなし

成分:

ベントナイト:

生分解性	:	備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性	:	備考: データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報	:	データなし

成分:

ベントナイト:

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。 当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性(vPvB)であるとは見なされない。

生態系に関する追加情報 : 知見なし。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号	:	非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	非該当
国連分類 (Class)	:	非該当
副次危険性 (Subsidiary risk)	:	非該当
容器等級 (Packing group)	:	非該当
ラベル (Labels)	:	非該当

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	:	非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	非該当
国連分類 (Class)	:	非該当
副次危険性 (Subsidiary risk)	:	非該当
容器等級 (Packing group)	:	非該当
ラベル (Labels)	:	非該当
梱包指示（貨物機） (Packing instruction (cargo aircraft))	:	非該当
梱包指示（旅客機） (Packing instruction (passenger	:	非該当

aircraft))

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号	:	非該当
国連輸送名	:	非該当
国連分類	:	非該当
副次危険性	:	非該当
容器等級	:	非該当
ラベル	:	非該当
EmS コード	:	非該当
海洋汚染物質(該当・非該当)	:	非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

非該当

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号
結晶質シリカ	165 の 2

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
結晶質シリカ	165 の 2

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

高圧ガス保安法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。 ACGIH 限界閾値 (TLV)

日本産業衛生学会（許容濃度） : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I.化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均

日本産業衛生学会（許容濃度） / OEL-M : 許容濃度

日本産業衛生学会（許容濃度） / OEL-C : 最大許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法(日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量（半数致死量）; MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性性・生体蓄積性・有毒性(物質）; PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - （定量的）構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認 可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のﾃﾞｰﾀはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA